

平成31年2月20日

各 位

会社名 シンプレクス・アセット・マネジメント株式会社
(管理会社コード：16714)
代表者名 代表取締役社長 水嶋 浩雅
問合せ先 業務本部 山口 節一
(TEL：03－5208-5211)

上場E T F (管理会社：シンプレクス・アセット・マネジメント)に関する日々の開示事項

シンプレクス・アセット・マネジメント株式会社を管理会社として上場するETF銘柄について、以下のとおり平成31年2月19日の状況をご報告します。

上場ETF銘柄(16銘柄)

掲載番号	銘柄名	銘柄コード	上場取引所
1	WTI原油価格連動型上場投信	1671	東証
2	Simple-X NYダウ・ジョーンズ・インデックス上場投信	1679	東証
3	JASDAQ-TOP20上場投信	1551	東証
4	マザーズ・コア上場投信	1563	東証
5	TOPIXブル2倍上場投信	1568	東証
6	TOPIXベア上場投信	1569	東証
7	中国H株ブル2倍上場投信	1572	東証
8	中国H株ベア上場投信	1573	東証
9	日経平均ブル2倍上場投信	1579	東証
10	日経平均ベア上場投信	1580	東証
11	TOPIXベア2倍上場投信	1356	東証
12	日経平均ベア2倍上場投信	1360	東証
13	JPX日経400ブル2倍上場投信(レバレッジ)	1467	東証
14	JPX日経400ベア上場投信(インバース)	1468	東証
15	JPX日経400ベア2倍上場投信(ダブルインバース)	1469	東証
16	東証マザーズETF	2516	東証

*各銘柄の状況につきましては、次ページ以降をご参照ください。なお、各銘柄名をクリックしていただくと、各銘柄の状況が表示されます。

以 上

会社名 シンプレクス・アセット・マネジメント株式会社
(管理会社コード:16714)
代表者名 代表取締役社長 水嶋 浩雅
(銘柄コード:1671)
問合せ先 業務本部 山口 節一
(TEL:03-5208-5211)

『WT I 原油価格連動型上場投信』に関する日々の開示事項

開示基準日:平成31年2月19日

1. 上場ETFの上場受益権口数
(開示基準日現在)

8,643,000 口

2. 上場ETFの純資産総額
(開示基準日現在)

21,479,882,982 円

3. 上場ETFの一口あたりの純資産額
(開示基準日現在)

2,485 円

4. 上場ETFの一口あたりの純資産額と対象指標の終値の乖離率
(開示基準日現在)

0.82 %

$$\text{乖離率} = \left(\frac{\text{上場ETFの一口あたりの純資産総額}}{\text{前営業日の上場ETFの一口あたりの純資産額}} - \frac{\text{円換算した特定の指標の終値}}{\text{円換算した前営業日の特定の指標の終値}} \right) \times 100 (\%)$$

5. 指標の特徴や留意点等

○原資産等の価格を利用する指標との差異
対象指標は、現物の原油価格ではなく、原油先物取引の価格を参照しています。原油先物取引の価格には、保管コスト（コスト・オブ・キャリー）等が反映されることにより、現物の原油価格を参照する場合と比べて投資成果が下回るおそれがあります。

○ロールオーバーに伴う損益について
対象指標を構成する原油先物取引において、通常、限月間に保管コスト等を反映した価格差があります。期近の先物価格よりも期先の先物価格が高くなっていく順踏の状態（以下「コンタンゴ」といいます。）において、保管コスト等を反映した先物価格の時間的価値が減価する場合には、次限月以降の限月への乗換え（以下「ロールオーバー」といいます。）に伴って損失が発生する場合があります。一方、期近の先物価格よりも期先の先物価格が低くなっていく逆踏の状態（「バックワーデーション」といいます。）においては、ロールオーバーに伴って収益が発生する場合があります。

○留意すべき投資スタイル（中長期的な投資）
コンタンゴの状態が多くなる場合等、ロールオーバーに伴う損失が累積すること等によって対象指標が減価するおそれがあるため、中長期的な投資を行う場合には留意が必要です。

○原油先物取引が限月の最終取引日近くなり、銘柄入れ替えを行う際に負担する売買コストが、基準価額の変動率とのかい離を生じさせる要因になる可能性があります。

○信託報酬等のコスト負担が、基準価額の変動率とのかい離を生じさせる要因になります。

以 上

会 社 名 シンプレクス・アセット・マネジメント株式会社
(管理会社コード:16714)
代表者名 代表取締役社長 水嶋 浩雅
(銘柄コード:1679)
問合せ先 業務本部 山口 節一
(TEL:03-5208-5211)

『Simple-X NYダウ・ジョーンズ・インデックス上場投信』に関する日々の開示事項

開示基準日:平成31年2月19日

1. 上場E T Fの上場受益権口数
(開示基準日現在)

65,000 口

2. 上場E T Fの純資産総額
(開示基準日現在)

1,672,142,943 円

3. 上場E T Fの一口あたりの純資産額
(開示基準日現在)

25,725 円

4. 上場E T Fの一口あたりの純資産額と対象指標の終値の乖離率
(開示基準日現在)

0.00 %

$$\text{乖離率} = \left[\frac{\text{上場ETFの一口あたりの純資産総額}}{\text{前営業日の上場ETFの一口あたりの純資産総額}} - \frac{\text{円換算した特定の指標の終値}}{\text{円換算した前営業日の特定の指標の終値}} \right] \times 100 (\%)$$

以 上

会 社 名 シンプレクス・アセット・マネジメント株式会社
(管理会社コード：16714)
代表者名 代表取締役社長 水嶋 浩雅
(銘柄コード：1551)
問合せ先 業務本部 山口 節一
(TEL：03-5208-5211)

『JASDAQ-TOP20上場投信』に関する日々の開示事項

開示基準日：平成31年2月19日

1. 上場ETFの上場受益権口数
(開示基準日現在)

227,568 口

2. 上場ETFの純資産総額
(開示基準日現在)

924,040,130 円

3. 上場ETFの一口あたりの純資産額
(開示基準日現在)

4,061 円

4. 上場ETFの一口あたりの純資産額と対象指標の終値の乖離率
(開示基準日現在)

-0.01 %

$$\text{乖離率} = \left[\frac{\text{上場ETFの一口あたりの純資産額}}{\text{前営業日の上場ETFの一口あたりの純資産額}} - \frac{\text{特定の指標の終値}}{\text{前営業日の特定の指標の終値}} \right] \times 100 (\%)$$

5. 設定および交換にかかる株式のポートフォリオ (別紙参照)

以 上

JASDAQ-TOP20上場投信

	株価指数終 値	日次 騰落率	一口あたりの 純資産額	日次 騰落率	乖離率	受益権総口数	純資産総額
2018/12/13	4,249.81	0.33%	4,295	0.33%	0.00%	227,568	977,313,956
2018/12/14	4,177.11	-1.71%	4,222	-1.70%	0.01%	227,568	960,791,050
2018/12/17	4,160.20	-0.40%	4,205	-0.40%	0.00%	227,568	956,853,219
2018/12/18	4,004.75	-3.74%	4,050	-3.69%	0.05%	227,568	921,560,756
2018/12/19	4,018.87	0.35%	4,064	0.35%	-0.01%	227,568	924,731,016
2018/12/20	3,858.63	-3.99%	3,904	-3.94%	0.05%	227,568	888,376,533
2018/12/21	3,727.04	-3.41%	3,773	-3.36%	0.05%	227,568	858,520,167
2018/12/25	3,426.44	-8.07%	3,473	-7.95%	0.11%	227,568	790,301,729
2018/12/26	3,551.88	3.66%	3,606	3.83%	0.17%	227,568	820,628,567
2018/12/27	3,796.79	6.90%	3,850	6.77%	-0.13%	227,568	876,168,593
2018/12/28	3,742.68	-1.43%	3,796	-1.40%	0.02%	227,568	863,887,536
2019/01/04	3,684.99	-1.54%	3,739	-1.50%	0.04%	227,568	850,779,532
2019/01/07	3,828.79	3.90%	3,882	3.82%	-0.08%	227,568	883,368,660
2019/01/08	3,835.65	0.18%	3,889	0.18%	0.00%	227,568	884,915,917
2019/01/09	3,825.68	-0.26%	3,879	-0.26%	0.00%	227,568	882,648,476
2019/01/10	3,739.33	-2.26%	3,793	-2.22%	0.04%	227,568	863,059,337
2019/01/11	3,735.26	-0.11%	3,788	-0.13%	-0.02%	227,568	862,129,128
2019/01/15	3,702.63	-0.87%	3,755	-0.87%	0.00%	227,568	854,624,835
2019/01/16	3,760.88	1.57%	3,814	1.57%	0.00%	227,568	867,978,961
2019/01/17	3,800.86	1.06%	3,854	1.05%	-0.01%	227,568	877,142,389
2019/01/18	3,809.80	0.24%	3,863	0.23%	0.00%	227,568	879,187,085
2019/01/21	3,809.80	0.00%	3,863	0.00%	0.00%	227,568	879,173,424
2019/01/22	3,830.70	0.55%	3,884	0.54%	0.00%	227,568	883,963,480
2019/01/23	3,785.94	-1.17%	3,839	-1.16%	0.01%	227,568	873,692,631
2019/01/24	3,780.91	-0.13%	3,834	-0.13%	0.00%	227,568	872,535,189
2019/01/25	3,825.28	1.17%	3,879	1.17%	0.00%	227,568	882,705,462
2019/01/28	3,843.47	0.48%	3,897	0.46%	-0.01%	227,568	886,863,936
2019/01/29	3,824.96	-0.48%	3,878	-0.49%	-0.01%	227,568	882,613,780
2019/01/30	3,742.05	-2.17%	3,795	-2.14%	0.03%	227,568	863,595,524
2019/01/31	3,791.60	1.32%	3,845	1.32%	-0.01%	227,568	874,955,296
2019/02/01	3,901.81	2.91%	3,956	2.89%	-0.02%	227,568	900,259,051
2019/02/04	3,982.16	2.06%	4,037	2.05%	-0.01%	227,568	918,672,740
2019/02/05	3,978.49	-0.09%	4,033	-0.10%	-0.01%	227,568	917,826,315
2019/02/06	3,963.97	-0.36%	4,019	-0.35%	0.02%	227,568	914,491,065
2019/02/07	3,895.02	-1.74%	3,949	-1.74%	0.00%	227,568	898,675,221
2019/02/08	3,789.37	-2.71%	3,843	-2.68%	0.03%	227,568	874,441,400
2019/02/12	3,885.45	2.54%	3,939	2.50%	-0.04%	227,568	896,457,333
2019/02/13	3,928.38	1.10%	3,983	1.12%	0.01%	227,568	906,298,175
2019/02/14	3,902.92	-0.65%	3,957	-0.65%	0.00%	227,568	900,455,871
2019/02/15	3,863.82	-1.00%	3,917	-1.01%	-0.01%	227,568	891,484,260
2019/02/18	3,948.33	2.19%	4,003	2.20%	0.01%	227,568	910,850,433
2019/02/19	4,005.86	1.46%	4,061	1.45%	-0.01%	227,568	924,040,130

JASDAQ-TOP20上場投信(交換に係わる交換口数)

※交換申込日(平成31年2月21日)、交換受付日(平成31年2月21日)分の交換口数は以下のとおりです。

交換口数 : 1,237口

JASDAQ-TOP20上場投信(設定ポートフォリオ)

※設定申込日(平成31年2月21日)、設定受付日(平成31年2月21日)分の設定ポートフォリオは以下のとおりです。

	コード	銘柄名	株式数
1	1407	ウエストホールディングス	100
2	2138	クルーズ	100
3	2362	夢真ホールディングス	100
4	2656	ベクター	100
5	2702	日本マクドナルドホールディングス	100
6	2706	ブロッコリー	200
7	2782	セリア	200
8	3858	ユビキタスAIコーポレーション	100
9	4080	田中化学研究所	100
10	4239	ポラテクノ	200
11	4293	セブテーニ・ホールディングス	100
12	4348	インフォコム	200
13	4667	アイサンテクノロジー	100
14	4849	エン・ジャパン	100
15	6324	ハーモニック・ドライブ・システムズ	100
16	6425	ユニバーサルエンターテインメント	100
17	6769	ザインエレクトロニクス	100
18	6787	メイコー	100
19	6890	フェローテックホールディングス	100
20	8909	シノケングループ	100

会 社 名 シンプレクス・アセット・マネジメント株式会社
(管理会社コード：16714)
代表者名 代表取締役社長 水嶋 浩雅
(銘柄コード：1563)
問合せ先 業務本部 山口 節一
(TEL：03－5208-5211)

『マザーズ・コア上場投信』に関する日々の開示事項

開示基準日：平成31年2月19日

1. 上場E T Fの上場受益権口数
(開示基準日現在)

453,851 口

2. 上場E T Fの純資産総額
(開示基準日現在)

1,124,407,571 円

3. 上場E T Fの一口あたりの純資産額
(開示基準日現在)

2,477 円

4. 上場E T Fの一口あたりの純資産額と対象指標の終値の乖離率
(開示基準日現在)

-0.02 %

$$\text{乖離率} = \left[\frac{\text{上場ETFの一口あたりの純資産額}}{\text{前営業日の上場ETFの一口あたりの純資産額}} - \frac{\text{特定の指標の終値}}{\text{前営業日の特定の指標の終値}} \right] \times 100 (\%)$$

5. 設定および交換にかかる株式のポートフォリオ (別紙参照)

以 上

マザーズ・コア上場投信

日付	株価指数終 値	日次 騰落率	一口あたりの 純資産額	日次 騰落率	乖離率	受益権総口数	純資産総額
2018/12/06	2,363	-3.20%	2,343	-3.18%	0.01%	453,851	1,063,305,696
2018/12/07	2,380	0.69%	2,359	0.68%	-0.01%	453,851	1,070,560,585
2018/12/10	2,302	-3.26%	2,282	-3.26%	0.00%	453,851	1,035,843,765
2018/12/11	2,242	-2.61%	2,223	-2.59%	0.03%	453,851	1,009,013,019
2018/12/12	2,330	3.92%	2,309	3.87%	-0.05%	453,851	1,048,142,039
2018/12/13	2,352	0.94%	2,331	0.95%	0.01%	453,851	1,057,908,786
2018/12/14	2,332	-0.86%	2,311	-0.86%	0.00%	453,851	1,048,868,278
2018/12/17	2,267	-2.75%	2,248	-2.73%	0.03%	453,851	1,020,132,638
2018/12/18	2,183	-3.71%	2,165	-3.69%	0.02%	453,851	982,568,007
2018/12/19	2,167	-0.75%	2,149	-0.74%	0.01%	453,851	975,232,776
2018/12/20	2,052	-5.31%	2,036	-5.26%	0.05%	453,851	923,968,347
2018/12/21	1,995	-2.79%	1,980	-2.75%	0.04%	453,851	898,448,476
2018/12/25	1,900	-4.75%	1,886	-4.75%	0.00%	453,851	856,170,964
2018/12/26	1,941	2.15%	1,930	2.33%	0.18%	453,851	875,965,469
2018/12/27	2,065	6.39%	2,052	6.32%	-0.07%	453,851	931,236,091
2018/12/28	2,055	-0.49%	2,042	-0.49%	0.00%	453,851	926,705,994
2019/01/04	2,102	2.28%	2,088	2.25%	-0.03%	453,851	947,493,316
2019/01/07	2,222	5.71%	2,205	5.60%	-0.11%	453,851	1,000,937,777
2019/01/08	2,267	2.06%	2,250	2.04%	-0.02%	453,851	1,021,343,343
2019/01/09	2,298	1.34%	2,280	1.33%	0.00%	453,851	1,034,841,714
2019/01/10	2,282	-0.66%	2,265	-0.66%	0.00%	453,851	1,028,067,698
2019/01/11	2,304	0.95%	2,286	0.93%	-0.02%	453,851	1,037,671,697
2019/01/15	2,384	3.49%	2,366	3.50%	0.01%	453,851	1,073,694,706
2019/01/16	2,402	0.73%	2,383	0.72%	-0.02%	453,851	1,081,533,683
2019/01/17	2,440	1.57%	2,420	1.55%	-0.02%	453,851	1,098,432,635
2019/01/18	2,480	1.67%	2,461	1.69%	0.02%	453,851	1,116,715,964
2019/01/21	2,426	-2.18%	2,407	-2.19%	-0.02%	453,851	1,092,433,310
2019/01/22	2,391	-1.48%	2,372	-1.45%	0.02%	453,851	1,076,342,917
2019/01/23	2,406	0.66%	2,387	0.63%	-0.03%	453,851	1,083,399,651
2019/01/24	2,433	1.11%	2,414	1.13%	0.02%	453,851	1,095,392,705
2019/01/25	2,473	1.62%	2,453	1.62%	-0.01%	453,851	1,113,104,600
2019/01/28	2,447	-1.06%	2,427	-1.06%	0.00%	453,851	1,101,313,594
2019/01/29	2,500	2.18%	2,479	2.14%	-0.04%	453,851	1,125,225,992
2019/01/30	2,385	-4.60%	2,366	-4.56%	0.04%	453,851	1,073,707,090
2019/01/31	2,473	3.68%	2,453	3.68%	0.00%	453,851	1,113,091,231
2019/02/01	2,462	-0.44%	2,442	-0.45%	-0.01%	453,851	1,108,219,944
2019/02/04	2,530	2.76%	2,509	2.74%	-0.02%	453,851	1,138,689,912
2019/02/05	2,547	0.69%	2,526	0.68%	-0.01%	453,851	1,146,468,233
2019/02/06	2,533	-0.55%	2,512	-0.55%	0.00%	453,851	1,140,159,632
2019/02/07	2,473	-2.36%	2,453	-2.35%	0.01%	453,851	1,113,322,906
2019/02/08	2,387	-3.50%	2,367	-3.51%	-0.01%	453,851	1,074,446,527
2019/02/12	2,434	1.97%	2,414	1.99%	0.02%	453,851	1,095,450,394
2019/02/13	2,427	-0.27%	2,407	-0.29%	-0.02%	453,851	1,092,513,697
2019/02/14	2,485	2.37%	2,464	2.37%	0.00%	453,851	1,118,322,520
2019/02/15	2,442	-1.73%	2,421	-1.75%	-0.01%	453,851	1,098,981,016
2019/02/18	2,479	1.52%	2,458	1.53%	0.00%	453,851	1,115,635,646
2019/02/19	2,499	0.79%	2,477	0.77%	-0.02%	453,851	1,124,407,571

マザーズ・コア上場投信(交換に係わる交換口数)

※交換申込日(平成31年2月21日)、交換受付日(平成31年2月21日)分の交換口数は以下のとおりです。

交換口数 : 1,504口

マザーズ・コア上場投信(設定ポートフォリオ)

※設定申込日(平成31年2月21日)、設定受付日(平成31年2月21日)分の設定ポートフォリオは以下のとおりです。

	コード	銘柄名	株式数
1	2121	ミクシィ	500
2	2438	アスカネット	100
3	2489	アドウェイズ	100
4	2497	ユナイテッド	100
5	3622	ネットイヤーグループ	100
6	3853	アステリア	100
7	3923	ラクス	200
8	4565	そーせいグループ	400
9	4813	ACCESS	100
10	6255	エヌ・ピー・シー	100
11	6532	ベイカレント・コンサルティング	100
12	7172	ジャパンインベストメントアドバイザー	100
13	7829	サマンサタバサジャパンリミテッド	200
14	8789	フィンテック グローバル	100
15	8914	エリアリンク	100

会 社 名 シンプレクス・アセット・マネジメント株式会社
(管理会社コード:16714)
代表者名 代表取締役社長 水嶋 浩雅
(銘柄コード:1568)
問合せ先 業務本部 山口 節一
(TEL:03-5208-5211)

『TOP I Xブル2倍上場投信』に関する日々の開示事項

開示基準日:平成31年2月19日

1. 上場E T Fの上場受益権口数
(開示基準日現在)

1,220,000 口

2. 上場E T Fの純資産総額
(開示基準日現在)

19,530,724,451 円

3. 上場E T Fの一口あたりの純資産額
(開示基準日現在)

16,009 円

4. 上場E T Fの一口あたりの純資産額と対象指標の終値の乖離率
(開示基準日現在)

-0.37 %

$$\text{乖離率} = \left(\frac{\text{上場ETFの一口あたりの純資産額}}{\text{前営業日の上場ETFの一口あたりの純資産額}} - \frac{\text{特定の指標の終値}}{\text{前営業日の特定の指標の終値}} \right) \times 100 (\%)$$

5. 連動対象指標の特徴と留意点

TOP I Xレバレッジ(2倍)指数(対象指標)は、下記の計算式を用いて原指標であるTOP I X(配当なし)の前日比変動率(%) *に対して2倍を乗じた変動率となるように計算された指数です。

* 前日比変動率(%)は、小数第3位四捨五入

当日の指数値 = 前日の指数値 × (1 + 2倍 × TOP I X(配当なし)の前日比変動率)

※TOP I Xレバレッジ(2倍)指数については、以下のHPをご覧ください。

<http://www.simplexasset.com/etf/etf.html>

対象指標となるレバレッジ型指標の主な特徴および主な留意点

・TOP I Xレバレッジ(2倍)指数は、変動率がTOP I X(配当なし)(以下、「TOP I X」といいます。)の日々の変動率の2倍となるように算出されているため、前営業日と比較するとその変動率はTOP I Xの2倍となりますが、2営業日以上離れた期間での比較においては、複利効果により、TOP I Xの変動率の2倍以上又は未滿となる場合があります。

・TOP I Xレバレッジ(2倍)指数は、TOP I Xが上昇局面においては、より大きなリターンを狙うことが可能ですが、下落局面においては、TOP I Xより大きく下落する傾向があります。また、TOP I Xが上昇・下落を相互に繰り返す場合、上記の複利効果によりTOP I Xレバレッジ(2倍)指数は通減していくという特性があり、このような場合、投資者は利益を得にくくなりますので留意が必要です。また、中長期にわたって投資をする場合、原指標の変動率とレバレッジ型指標の変動率の乖離が大きくなる可能性があり、留意が必要です。

以 上

TOPIXブル2倍上場投信

開示基準日におけるTOPIX先物取引の買建玉
19年03月限

2,428 単位

開示基準日における追加申込
開示基準日における換金(解約)請求

0 口
0 口

会 社 名 シンプレクス・アセット・マネジメント株式会社
(管理会社コード:16714)
代表者名 代表取締役社長 水嶋 浩雅
(銘柄コード:1569)
問合せ先 業務本部 山口 節一
(TEL:03-5208-5211)

『TOPIXベア上場投信』に関する日々の開示事項

開示基準日:平成31年2月19日

1. 上場ETFの上場受益権口数
(開示基準日現在)

1,866,000 口

2. 上場ETFの純資産総額
(開示基準日現在)

6,024,415,053 円

3. 上場ETFの一口あたりの純資産額
(開示基準日現在)

3,229 円

4. 上場ETFの一口あたりの純資産額と対象指標の終値の乖離率
(開示基準日現在)

0.19 %

$$\text{乖離率} = \left(\frac{\text{上場ETFの一口あたりの純資産額}}{\text{前営業日の上場ETFの一口あたりの純資産額}} - \frac{\text{特定の指標の終値}}{\text{前営業日の特定の指標の終値}} \right) \times 100 (\%)$$

5. 連動対象指標の特徴と留意点

TOPIXインバース(－1倍)指数(対象指標)は、下記の計算式を用いて原指標であるTOPIX(配当なし)の前日比変動率(%)＊に対して－1倍を乗じた変動率となるように計算された指数です。

＊ 前日比変動率(%)は、小数第3位四捨五入

当日の指数値＝前日の指数値×(1－1倍×TOPIX(配当なし)の前日比変動率)

※TOPIXインバース(－1倍)指数については、以下のHPをご覧ください。

<http://www.simplexasset.com/etf/etf.html>

対象指標となるインバース型指標の主な特徴および主な留意点

・TOPIXインバース(－1倍)指数は、変動率がTOPIX(配当なし)(以下、「TOPIX」といいます。)の日々の変動率の－1倍となるように算出されているため、前営業日と比較するとその変動率はTOPIXの－1倍となりますが、2営業日以上離れた期間での比較においては、複利効果により、TOPIXの変動率の－1倍以上又は未満となる場合があります。

・TOPIXインバース(－1倍)指数は、下落局面でもリターンを狙うことが可能ですが、上昇局面においては、TOPIXの動きと逆に下落していく傾向があります。また、TOPIXが上昇・下落を相互に繰り返す場合、上記の複利効果によりTOPIXインバース(－1倍)指数は通減していくという特性があり、このような場合、投資者は利益を得にくくなりますので留意が必要です。また、インバース型指標は、中長期にわたって投資をする場合、原指標の変動率とインバース型指標の変動率の乖離が大きくなる可能性があり、留意が必要です。

以 上

TOPIXベア上場投信

開示基準日におけるTOPIX先物取引の売建玉 19年03月限	376 単位
-----------------------------------	--------

開示基準日における追加申込	0 口
開示基準日における換金(解約)請求	0 口

各 位

会 社 名 シンプレクス・アセット・マネジメント株式会社
 (管理会社コード:16714)
 代表者名 代表取締役社長 水嶋 浩雅
 (銘柄コード:1572)
 問合せ先 業務本部 山口 節一
 (TEL:03-5208-5211)

『中国H株ブル2倍上場投信』に関する日々の開示事項

開示基準日:平成31年2月19日

1. 上場ETFの上場受益権口数
 (開示基準日現在)

100,000 口

2. 上場ETFの純資産総額
 (開示基準日現在)

1,264,320,678 円

3. 上場ETFの一口あたりの純資産額
 (開示基準日現在)

12,643 円

4. 上場ETFの一口あたりの純資産額と対象指標の終値の乖離率
 (開示基準日現在)

0.07 %

$$\text{乖離率} = \left[\frac{\text{上場ETFの一口あたりの純資産総額}}{\text{前営業日の上場ETFの一口あたりの純資産額}} - \frac{\text{円換算した特定の指標の終値}}{\text{円換算した前営業日の特定の指標の終値}} \right] \times 100 (\%)$$

5. 連動対象指標の特徴と留意点

ハンセン中国企業株レバレッジ指数は、ハンセン中国企業株指数の前日比変動率を2倍した指数です。ハンセン中国企業株指数の2倍のレバレッジの効いたリターンに加え、株式投資に対する借入金利及びリバランスに伴う印紙税も指数に反映されます。

※ハンセン中国企業株レバレッジ指数については、以下のHPをご覧ください。

<http://www.simplexasset.com/etf/etf.html>

対象指標となるレバレッジ型指標の主な特徴および主な留意点

注：ハンセン中国企業株レバレッジ指数は、ハンセン中国企業株指数（以下、「原指数」といいます。）の2倍のレバレッジの効いたリターンに加え、株式投資に対する借入金利及びリバランスに伴う印紙税も指数に反映されるため、正確に2倍として計算されるわけではありません。ただし、以下では説明の簡略化のために、「2倍」としていることにご注意ください。

・ ハンセン中国企業株レバレッジ指数は、変動率が原指数の日々の変動率の2倍となるように算出されているため、前営業日と比較するとその変動率は原指数の2倍となりますが、2営業日以上離れた期間での比較においては、複利効果により、原指数の変動率の2倍以上又は未滿となる場合があります。

・ ハンセン中国企業株レバレッジ指数は、原指数が上昇トレンドにある場合において、収益をさらに強く求める指標であるため、原指数の上昇を見込む場合には有効です。また、下落局面においては、原指数より大きく下落する傾向があります。

・ レバレッジ型指標は、中長期にわたって投資をする場合、原指数の変動率とレバレッジ型指標の変動率の乖離が大きくなる可能性があり、留意が必要です。

・ 原指数の上昇と下落が相互に繰り返されるような相場においては、複利効果により、原指標と比較して指数のパフォーマンスが逡減していくという特性があり、投資者は利益を得にくくなりますので、留意が必要です。

・ 円換算した原指標の動きと、円換算したレバレッジ型指標の動きには、為替変動の影響もあるので、留意が必要です。

以 上

中国H株ブル2倍上場投信

開示基準日におけるHang Seng China Enterprises Index Future取引の買建玉
(開示基準日における取引を含む。)

19年02月限

320 単位

	A	B
開示基準日までの追加申込	0 口	0 口
開示基準日までの換金(解約)請求	0 口	0 口

A：開示基準日の前営業日

B：開示基準日

会 社 名 シンプレクス・アセット・マネジメント株式会社
(管理会社コード:16714)
代表者名 代表取締役社長 水嶋 浩雅
(銘柄コード:1573)
問合せ先 業務本部 山口 節一
(TEL:03-5208-5211)

『中国H株ベア上場投信』に関する日々の開示事項

開示基準日:平成31年2月19日

1. 上場E T Fの上場受益権口数
(開示基準日現在)

85,000 口

2. 上場E T Fの純資産総額
(開示基準日現在)

653,431,588 円

3. 上場E T Fの一口あたりの純資産額
(開示基準日現在)

7,687 円

4. 上場E T Fの一口あたりの純資産額と対象指標の終値の乖離率
(開示基準日現在)

-0.05 %

$$\text{乖離率} = \left(\frac{\text{上場ETFの一口あたりの純資産総額}}{\text{前営業日の上場ETFの一口あたりの純資産額}} - \frac{\text{円換算した特定の指標の終値}}{\text{円換算した前営業日の特定の指標の終値}} \right) \times 100 (\%)$$

5. 連動対象指標の特徴と留意点

ハンセン中国企業株ショート指数は、ハンセン中国企業株指数（配当込）の前日比変動率をインバース（－1倍）した指数です。ハンセン中国企業株ショート指数は、ハンセン中国企業株指数（配当込）の前日比変動率の－1倍のリターンを示します。ハンセン中国企業株指数（配当込）の－1倍のリターンに加え、貸出金利とリバランスに伴う印紙税及び信用売りをしている株が支払いうる配当金も反映します。

※ハンセン中国企業株ショート指数については、以下のHPをご覧ください。

<http://www.simplexasset.com/etf/etf.html>

対象指標となるインバース型指標の主な特徴および主な留意点

注：ハンセン中国企業株ショート指数は、ハンセン中国企業株指数（配当込）（以下、「原指数」といいます。）の－1倍のリターンに加え、貸出金利とリバランスに伴う印紙税及び信用売りをしている株が支払いうる配当金も反映されるため、正確に－1倍として計算されるわけではありません。ただし、以下では説明の簡略化のために、「－1倍」としていることにご注意ください。

・ハンセン中国企業株ショート指数は、変動率が原指数の日々の変動率の－1倍となるように算出されているため、前営業日と比較するとその変動率は原指数の－1倍となりますが、2営業日以上離れた期間での比較においては、複利効果により、原指数の変動率の－1倍以上又は未満となる場合があります。

・ハンセン中国企業株ショート指数は、原指数が下落トレンドにある場合において上昇する指標であるため、ハンセン中国企業株指数原指数の下落を見込む場合には有用です。また、上昇局面においては、原指数の動きと逆に下落していく傾向があります。

・インバース型指標は、中長期にわたって投資をする場合、原指数の変動率とインバース型指標の変動率の乖離が大きくなる可能性があり、留意が必要です。

・原指数の上昇と下落が相互に繰り返されるような相場においては、複利効果により、原指数と比較して指数のパフォーマンスが逡減して行くという特性があり、投資者は利益を得にくくなりますので、留意が必要です。

・円換算した原指標の動きと、円換算したインバース型指標の動きには、為替変動の影響もあるので、留意が必要です。

以 上

中国H株ベア上場投信

開示基準日におけるHang Seng China Enterprises Index Futureの売建玉
(開示基準日における取引を含む。)

19年02月限

84 単位

	A	B
開示基準日までの追加申込	0 口	0 口
開示基準日までの換金(解約)請求	0 口	0 口

A：開示基準日の前営業日

B：開示基準日

各 位

会 社 名 シンプレクス・アセット・マネジメント株式会社
(管理会社コード:16714)
代表者名 代表取締役社長 水嶋 浩雅
(銘柄コード:1579)
問合せ先 業務本部 山口 節一
(TEL:03-5208-5211)

『日経平均ブル2倍上場投信』に関する日々の開示事項

開示基準日:平成31年2月19日

1. 上場ETFの上場受益権口数
(開示基準日現在)

1,900,000 口

2. 上場ETFの純資産総額
(開示基準日現在)

35,806,820,842 円

3. 上場ETFの一口あたりの純資産額
(開示基準日現在)

18,846 円

4. 上場ETFの一口あたりの純資産額と対象指標の終値の乖離率
(開示基準日現在)

-0.20 %

$$\text{乖離率} = \left(\frac{\text{上場ETFの一口あたりの純資産額}}{\text{前営業日の上場ETFの一口あたりの純資産額}} - \frac{\text{特定の指標の終値}}{\text{前営業日の特定の指標の終値}} \right) \times 100 (\%)$$

5. 連動対象指標の特徴と留意点

日経平均レバレッジ・インデックス(対象指標)は、日経平均株価(以下、「日経平均」といいます。)の2倍の変動率で指数が動くよう設計されています。

※日経平均レバレッジ・インデックスについては、以下のHPをご覧ください。

<http://www.simplexasset.com/etf/etf.html>

対象指標となるレバレッジ型指標の主な特徴および主な留意点

・日経平均レバレッジ・インデックスは、変動率が日経平均の日々の変動率の2倍となるように算出されているため、前営業日と比較するとその変動率は日経平均の2倍となりますが、2営業日以上離れた期間での比較においては、複利効果により、日経平均の変動率の2倍以上又は未滿となる場合があります。

・日経平均レバレッジ・インデックスは、日経平均が上昇局面においては、より大きなリターンを狙うことが可能ですが、下落局面においては、日経平均より大きく下落する傾向があります。また、日経平均が上昇・下落を相互に繰り返す場合、上記の複利効果により日経平均レバレッジ・インデックスは逓減していくという特性があり、このような場合、投資者は利益を得にくくなりますので留意が必要です。また、中長期にわたって投資をする場合、原指標の変動率とレバレッジ型指標の変動率の乖離が大きくなる可能性があり、留意が必要です。

以 上

日経平均ブル2倍上場投信

開示基準日における日経225先物取引の買建玉
19年03月限

3,361 単位

開示基準日における追加申込

0 口

開示基準日における換金(解約)請求

0 口

会 社 名 シンプレクス・アセット・マネジメント株式会社
(管理会社コード:16714)
代表者名 代表取締役社長 水嶋 浩雅
(銘柄コード:1580)
問合せ先 業務本部 山口 節一
(TEL:03-5208-5211)

『日経平均ベア上場投信』に関する日々の開示事項

開示基準日:平成31年2月19日

1. 上場ETFの上場受益権口数
(開示基準日現在)

3,332,000 口

2. 上場ETFの純資産総額
(開示基準日現在)

14,611,458,857 円

3. 上場ETFの一口あたりの純資産額
(開示基準日現在)

4,385 円

4. 上場ETFの一口あたりの純資産額と対象指標の終値の乖離率
(開示基準日現在)

0.10 %

$$\text{乖離率} = \left[\frac{\text{上場ETFの一口あたりの純資産額}}{\text{前営業日の上場ETFの一口あたりの純資産額}} - \frac{\text{特定の指標の終値}}{\text{前営業日の特定の指標の終値}} \right] \times 100 (\%)$$

5. 連動対象指標の特徴と留意点

日経平均インバース・インデックス（対象指標）は、日経平均株価（以下、「日経平均」といいます。）の逆の変動率（－1倍の変動率）で指数が動くよう設計されています。

※日経平均インバース・インデックスについては、以下のHPをご覧ください。

<http://www.simplexasset.com/etf/etf.html>

対象指標となるインバース型指標の主な特徴および主な留意点

・日経平均インバース・インデックスは、変動率が日経平均の日々の変動率の逆（－1倍）となるように算出されているため、前営業日と比較するとその変動率は日経平均の－1倍となりますが、2営業日以上離れた期間での比較においては、複利効果により、日経平均の変動率の－1倍以上又は未満となる場合があります。

・日経平均インバース・インデックスは、下落局面でもリターンを狙うことが可能ですが、上昇局面においては、日経平均の動きと逆に下落していく傾向があります。また、日経平均が上昇・下落を相互に繰り返す場合、上記の複利効果により日経平均インバース・インデックスは逡減していくという特性があり、このような場合、投資者は利益を得にくくなりますので留意が必要です。また、インバース型指標は、中長期にわたって投資をする場合、原指標の変動率とインバース型指標の変動率の乖離が大きくなる可能性があり、留意が必要です。

以 上

日経平均ペア上場投信

開示基準日における日経225先物取引の売建玉 19年03月限	687 単位
-----------------------------------	--------

開示基準日における追加申込	0 口
開示基準日における換金(解約)請求	0 口

会 社 名 シンプレクス・アセット・マネジメント株式会社
(管理会社コード:16714)
代表者名 代表取締役社長 水嶋 浩雅
(銘柄コード:1356)
問合せ先 業務本部 山口 節一
(TEL:03-5208-5211)

『TOPIXベア2倍上場投信』に関する日々の開示事項

開示基準日:平成31年2月19日

1. 上場ETFの上場受益権口数
(開示基準日現在)

3,050,000 口

2. 上場ETFの純資産総額
(開示基準日現在)

7,755,454,510 円

3. 上場ETFの一口あたりの純資産額
(開示基準日現在)

2,543 円

4. 上場ETFの一口あたりの純資産額と対象指標の終値の乖離率
(開示基準日現在)

0.36 %

$$\text{乖離率} = \left(\frac{\text{上場ETFの一口あたりの純資産額}}{\text{前営業日の上場ETFの一口あたりの純資産額}} - \frac{\text{特定の指標の終値}}{\text{前営業日の特定の指標の終値}} \right) \times 100 (\%)$$

5. 連動対象指標の特徴と留意点

TOPIXダブルインバース(−2倍)指数(対象指標)は、下記の計算式を用いて原指標であるTOPIX(配当なし)の前日比変動率(%)*に対して−2倍を乗じた変動率となるように計算された指数です。

* 前日比変動率(%)は、小数第3位四捨五入

当日の指数値=前日の指数値×(1−2倍×TOPIX(配当なし)の前日比変動率)

※TOPIXダブルインバース(−2倍)指数については、以下のHPをご覧ください。

<http://www.simplexasset.com/etf/etf.html>

対象指標となるインバース型指標の主な特徴および主な留意点

・TOPIXダブルインバース(−2倍)指数は、変動率がTOPIX(配当なし)(以下、「TOPIX」といいます。)の日々の変動率の−2倍となるように算出されているため、前営業日と比較するとその変動率はTOPIXの−2倍となりますが、2営業日以上離れた期間での比較においては、複利効果により、TOPIXの変動率の−2倍以上又は未満となる場合があります。

・TOPIXダブルインバース(−2倍)指数は、下落局面でもリターンを狙うことが可能ですが、上昇局面においては、TOPIXの動きと逆に下落していく傾向があります。また、TOPIXが上昇・下落を相互に繰り返す場合、上記の複利効果によりTOPIXダブルインバース(−2倍)指数は逡減していくという特性があり、このような場合、投資者は利益を得にくくなりますので留意が必要です。また、インバース型指標は、中長期にわたって投資をする場合、原指標の変動率とインバース型指標の変動率の乖離が大きくなる可能性があり、留意が必要です。

以 上

TOPIXベア2倍上場投信

開示基準日におけるTOPIX先物取引の売建玉
19年03月限

968 単位

開示基準日における追加申込
開示基準日における換金(解約)請求

0 口

0 口

会 社 名 シンプレクス・アセット・マネジメント株式会社
(管理会社コード:16714)
代表者名 代表取締役社長 水嶋 浩雅
(銘柄コード:1360)
問合せ先 業務本部 山口 節一
(TEL:03-5208-5211)

『日経平均ベア2倍上場投信』に関する日々の開示事項

開示基準日:平成31年2月19日

1. 上場ETFの上場受益権口数
(開示基準日現在)

9,730,000 口

2. 上場ETFの純資産総額
(開示基準日現在)

28,159,372,344 円

3. 上場ETFの一口あたりの純資産額
(開示基準日現在)

2,894 円

4. 上場ETFの一口あたりの純資産額と対象指標の終値の乖離率
(開示基準日現在)

0.20 %

$$\text{乖離率} = \left(\frac{\text{上場ETFの一口あたりの純資産額}}{\text{前営業日の上場ETFの一口あたりの純資産額}} - \frac{\text{特定の指標の終値}}{\text{前営業日の特定の指標の終値}} \right) \times 100 (\%)$$

5. 連動対象指標の特徴と留意点

日経平均ダブルインバース・インデックス(対象指標)は、日経平均株価(以下、「日経平均」といいます。)とは2倍の逆(マイナス2倍)の変動率で指数が動くよう設計されています。

※日経平均ダブルインバース・インデックスについては、以下のHPをご覧ください。

<http://www.simplexasset.com/etf/etf.html>

対象指標となるインバース型指標の主な特徴および主な留意点

・日経平均ダブルインバース・インデックスは、変動率が日経平均の日々の変動率の2倍の逆(−2倍)となるように算出されているため、前営業日と比較するとその変動率は日経平均の−2倍となりますが、2営業日以上離れた期間での比較においては、複利効果により、日経平均の変動率の−2倍以上又は未滿となる場合があります。

・日経平均ダブルインバース・インデックスは、下落局面でもリターンを狙うことが可能ですが、上昇局面においては、日経平均の動きと逆に下落していく傾向があります。また、日経平均が上昇・下落を相互に繰り返す場合、上記の複利効果により日経平均ダブルインバース・インデックスは逓減していくという特性があり、このような場合、投資者は利益を得にくくなりますので留意が必要です。また、インバース型指標は、中長期にわたって投資をする場合、原指標の変動率とインバース型指標の変動率の乖離が大きくなる可能性があり、留意が必要です。

以 上

日経平均ベア2倍上場投信

開示基準日における日経225先物取引の売建玉
19年03月限

2,648 単位

開示基準日における追加申込
開示基準日における換金(解約)請求

0 口

0 口

各 位

会 社 名 シンプレクス・アセット・マネジメント株式会社
 (管理会社コード:16714)
 代表者名 代表取締役社長 水嶋 浩雅
 (銘柄コード:1467)
 問合せ先 業務本部 山口 節一
 (TEL:03-5208-5211)

『JPX日経400ブル2倍上場投信(レバレッジ)』に関する日々の開示事項

開示基準日:平成31年2月19日

1. 上場ETFの上場受益権口数
 (開示基準日現在)

45,000 口

2. 上場ETFの純資産総額
 (開示基準日現在)

426,046,291 円

3. 上場ETFの一口あたりの純資産額
 (開示基準日現在)

9,468 円

4. 上場ETFの一口あたりの純資産額と対象指標の終値の乖離率
 (開示基準日現在)

-0.35 %

$$\text{乖離率} = \left[\frac{\text{上場ETFの一口あたりの純資産額}}{\text{前営業日の上場ETFの一口あたりの純資産額}} - \frac{\text{特定の指標の終値}}{\text{前営業日の特定の指標の終値}} \right] \times 100 (\%)$$

5. 連動対象指標の特徴と留意点

JPX日経400レバレッジ・インデックス(対象指標)は、下記の計算式を用いて原指標であるJPX日経インデックス400(配当なし)(以下、「JPX日経400」といいます。)の前日比変動率(%) * に対して2倍を乗じた変動率となるように計算された指数です。

* 前日比変動率(%)は、小数第3位四捨五入

当日の指数値 = 前日の指数値 × (1 + 2倍 × JPX日経400の前日比変動率)

※JPX日経400レバレッジ・インデックスについては、以下のHPをご覧ください。

<http://www.simplexasset.com/etf/etf.html>

対象指標となるレバレッジ型指標の主な特徴および主な留意点

・JPX日経400レバレッジ・インデックスは、変動率がJPX日経400の日々の変動率の2倍となるように算出されているため、前営業日と比較するとその変動率はJPX日経400の2倍となりますが、2営業日以上離れた期間での比較においては、複利効果により、JPX日経400の変動率の2倍以上又は未滿となる場合があります。

・JPX日経400レバレッジ・インデックスは、JPX日経400が上昇局面においては、より大きなリターンを狙うことが可能ですが、下落局面においては、JPX日経400より大きく下落する傾向があります。また、JPX日経400が上昇・下落を相互に繰り返す場合、上記の複利効果によりJPX日経400レバレッジ・インデックスは増減していくという特性があり、このような場合、投資者は利益を得にくくなりますので留意が必要です。また、中長期にわたって投資をする場合、原指標の変動率とレバレッジ型指標の変動率の乖離が大きくなる可能性があり、留意が必要です。

以 上

JPX日経400ブル2倍上場投信(レバレッジ)

開示基準日におけるJPX日経400先物取引の買建玉 19年03月限	597 単位
--------------------------------------	--------

開示基準日における追加申込	0 口
開示基準日における換金(解約)請求	0 口

会 社 名 シンプレクス・アセット・マネジメント株式会社
(管理会社コード:16714)
代表者名 代表取締役社長 水嶋 浩雅
(銘柄コード:1468)
問合せ先 業務本部 山口 節一
(TEL:03-5208-5211)

『JPX日経400ベア上場投信（インバース）』に関する日々の開示事項

開示基準日:平成31年2月19日

1. 上場ETFの上場受益権口数
(開示基準日現在)

327,000 口

2. 上場ETFの純資産総額
(開示基準日現在)

2,463,324,504 円

3. 上場ETFの一口あたりの純資産額
(開示基準日現在)

7,533 円

4. 上場ETFの一口あたりの純資産額と対象指標の終値の乖離率
(開示基準日現在)

0.17 %

$$\text{乖離率} = \left[\frac{\text{上場ETFの一口あたりの純資産額}}{\text{前営業日の上場ETFの一口あたりの純資産額}} - \frac{\text{特定の指標の終値}}{\text{前営業日の特定の指標の終値}} \right] \times 100 (\%)$$

5. 連動対象指標の特徴と留意点

JPX日経400インバース・インデックス（対象指数）は、下記の計算式を用いて原指標であるJPX日経インデックス400（配当なし）（以下、「JPX日経400」といいます。）の前日比変動率（%）* に対して－1倍を乗じた変動率となるように計算された指数です。

* 前日比変動率（%）は、小数第3位四捨五入

当日の指数値＝前日の指数値×（1－1倍×JPX日経400の前日比変動率）

※JPX日経400インバース・インデックスについては、以下のHPをご覧ください。

<http://www.simplexasset.com/etf/etf.html>

対象指標となるインバース型指標の主な特徴および主な留意点

・JPX日経400インバース・インデックスは、変動率がJPX日経400の日々の変動率の逆（－1倍）となるように算出されているため、前営業日と比較するとその変動率はJPX日経400の－1倍となりますが、2営業日以上離れた期間での比較においては、複利効果により、JPX日経400の変動率の－1倍以上又は未満となる場合があります。

・JPX日経400インバース・インデックスは、下落局面でもリターンを狙うことが可能ですが、上昇局面においては、JPX日経400の動きと逆に下落していく傾向があります。また、JPX日経400が上昇・下落を相互に繰り返す場合、上記の複利効果によりJPX日経400インバース・インデックスは通減していくという特性があり、このような場合、投資者は利益を得にくくなりますので留意が必要です。また、インバース型指標は、中長期にわたって投資をする場合、原指標の変動率とインバース型指標の変動率の乖離が大きくなる可能性があり、留意が必要です。

以 上

JPX日経400ペア上場投信(インバース)

開示基準日におけるJPX日経400先物取引の売建玉 19年03月限	1,730 単位
--------------------------------------	----------

開示基準日における追加申込	0 口
開示基準日における換金(解約)請求	0 口

各 位

会 社 名 シンプレクス・アセット・マネジメント株式会社
 (管理会社コード:16714)
 代表者名 代表取締役社長 水嶋 浩雅
 (銘柄コード:1469)
 問合せ先 業務本部 山口 節一
 (TEL:03-5208-5211)

『JPX日経400ベア 2 倍上場投信 (ダブルインバース) 』に関する日々の開示事項

開示基準日:平成31年2月19日

1. 上場 E T F の上場受益権口数
 (開示基準日現在)

90,000 口

2. 上場 E T F の純資産総額
 (開示基準日現在)

448,419,393 円

3. 上場 E T F の一口あたりの純資産額
 (開示基準日現在)

4,982 円

4. 上場 E T F の一口あたりの純資産額と対象指標の終値の乖離率
 (開示基準日現在)

0.34 %

$$\text{乖離率} = \left[\frac{\text{上場ETFの一口あたりの純資産額}}{\text{前営業日の上場ETFの一口あたりの純資産額}} - \frac{\text{特定の指標の終値}}{\text{前営業日の特定の指標の終値}} \right] \times 100 (\%)$$

5. 連動対象指標の特徴と留意点

JPX日経400ダブルインバース・インデックス (対象指数) は、下記の計算式を用いて原指標であるJPX日経インデックス400 (配当なし) (以下、「JPX日経400」といいます。) の前日比変動率 (%) * に対して - 2 倍を乗じた変動率となるように計算された指数です。
 * 前日比変動率 (%) は、小数第 3 位四捨五入

当日の指数値 = 前日の指数値 × (1 - 2 倍 × JPX日経400の前日比変動率)

※JPX日経400ダブルインバース・インデックスについては、以下のHPをご覧ください。

<http://www.simplexasset.com/etf/etf.html>

対象指標となるインバース型指標の主な特徴および主な留意点

・JPX日経400ダブルインバース・インデックスは、変動率がJPX日経400の日々の変動率の2倍の逆 (- 2 倍) となるように算出されているため、前営業日と比較するとその変動率はJPX日経400の - 2 倍となりますが、2 営業日以上離れた期間での比較においては、複利効果により、JPX日経400の変動率の - 2 倍以上又は未満となる場合があります。

・JPX日経400ダブルインバース・インデックスは、下落局面でもリターンを狙うことが可能ですが、上昇局面においては、JPX日経400の動きと逆に下落していく傾向があります。また、JPX日経400が上昇・下落を相互に繰り返す場合、上記の複利効果によりJPX日経400ダブルインバース・インデックスは通減していくという特性があり、このような場合、投資者は利益を得にくくなりますので留意が必要です。また、インバース型指標は、中長期にわたって投資をする場合、原指標の変動率とインバース型指標の変動率の乖離が大きくなる可能性があり、留意が必要です。

以 上

JPX日経400ペア2倍上場投信(ダブルインバース)

開示基準日におけるJPX日経400先物取引の売建玉 19年03月限	630 単位
--------------------------------------	--------

開示基準日における追加申込	0 口
開示基準日における換金(解約)請求	0 口

会 社 名 シンプレクス・アセット・マネジメント株式会社
(管理会社コード:16714)
代表者名 代表取締役社長 水嶋 浩雅
(銘柄コード:2516)
問合せ先 業務本部 山口 節一
(TEL:03-5208-5211)

『東証マザーズETF』に関する日々の開示事項

開示基準日:平成31年2月19日

1. 上場ETFの上場受益権口数
(開示基準日現在)

4,130,000 口

2. 上場ETFの純資産総額
(開示基準日現在)

2,776,457,170 円

3. 上場ETFの一口あたりの純資産額
(開示基準日現在)

672.27 円

4. 上場ETFの一口あたりの純資産額と対象指標の終値の乖離率
(開示基準日現在)

0.00 %

$$\text{乖離率} = \left(\frac{\text{上場ETFの一口あたりの純資産額}}{\text{前営業日の上場ETFの一口あたりの純資産額}} - \frac{\text{特定の指標の終値}}{\text{前営業日の特定の指標の終値}} \right) \times 100 (\%)$$

以 上

東証マザーズETF

開示基準日における東証マザーズ指数先物取引の買建玉
19年03月限 3,144 単位

開示基準日における追加申込 0 口
開示基準日における換金(解約)請求 0 口